CASBEE静岡 ふじっぴー

CASBEE建築（新築）2021年版 対応

棚に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	OCE第5冷蔵庫新築工事	BEE	0.9	BEEランク	B−	★★

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点		取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進（Global Warming）	3.4	/5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成（Disaster）	2.8	/5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進（Universal Design）	3.0	/5		ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復（Nature）	2.4	/5		がんばろう

※対応するCASBEEのスコア（平均）を5点満点で表示します。（スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点）

評価 凡例	よい	ふつう	がんばろう
	4点以上	3点以上	3点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号（①～）を示し記述してください。

		内訳対応項目					
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進（Global Warming）		得点					3.4
	■室内環境対策 （①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数） 特になし。	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
				3.2	3.2.1	③	昼光制御
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
					2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
					2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
					2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔
					2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔
					2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境（敷地内）対策 （⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上） 特になし。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 （⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用） ⑦BPIm=0.76。	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制
			2			⑧	自然エネルギー利用
			3			⑨	設備システムの高効率化
			4	4.1		⑩	モニタリング
				4.2		⑩	運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 （⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避） ⑪節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ⑬ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR-2	1	1.1		⑪	節水
				1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
					1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
			2	2.1		⑫	材料使用量の削減
				2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用
				2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
				2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
				2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材
				2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
			3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用
				3.2	3.2.1	⑬	消火剤
					3.2.2	⑬	断熱材
					3.2.3	⑬	冷媒
	■敷地外環境対策 （⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善） ⑭ライフサイクルCO2排出率が60%。	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮
			2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成（Disaster）		得点					2.8
	■サービス性能対策 （⑯耐震・免震/⑰信頼性） 特になし。	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
					2.1.2	⑯	免震・制振性能
				2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備
					2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
					2.4.3	⑰	電気設備
					2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
					2.4.5	⑰	通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進（Universal Design）		得点					3.0
	■サービス性能対策 （⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり） ⑳階高:3.9m以上。 ⑳[壁長さ比率] ＜0.1	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
			3	3.1	3.1.1	⑳	階高のゆとり
					3.1.2	⑳	空間の形状・自由さ
	■室外環境（敷地内）対策 （㉑地域性・アメニティへの配慮） 特になし。	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復（Nature）		得点					2.4
	■室外環境（敷地内）対策 （⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上） 特になし。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
			2			㉒	まちなみ景観への配慮
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 （⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善） 特になし。	LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材
		LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善

CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版　使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要

建物名称	OCE第5冷蔵庫新築工事	階数	地上3F
建設地	静岡県榛原郡吉田町川尻字京田1099番3他22筆	構造	S造
用途地域	用途地域の指定のない区域、防火地域指定なし	平均居住人員	96 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月　予定	評価の実施日	2026年8月26日
敷地面積	12,502 ㎡	作成者	飯塚 和三
建築面積	4,822 ㎡	確認日	
延床面積	5,458 ㎡	確認者	

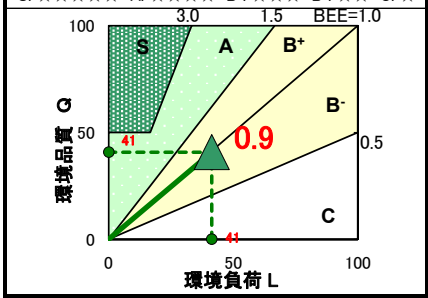
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

BEE =0.9

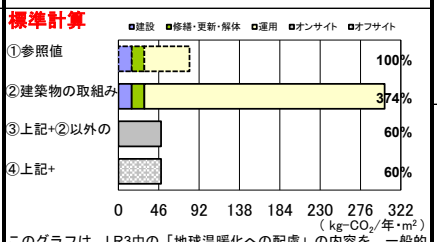
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

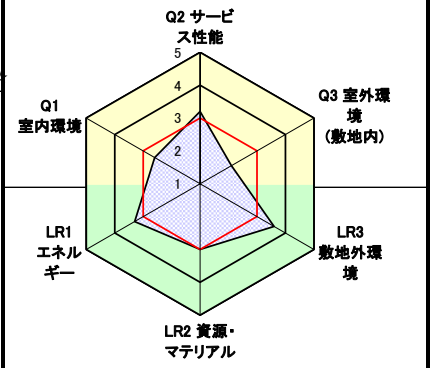


30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

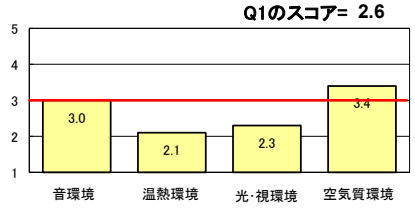
2-3 大項目の評価（レーダーチャート）



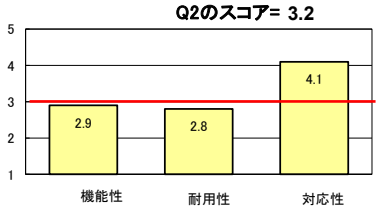
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.6

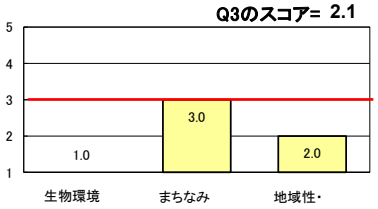
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.6



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.2

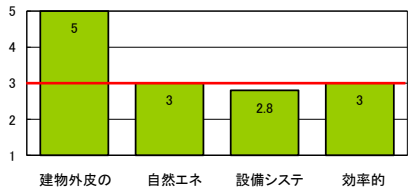


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.1

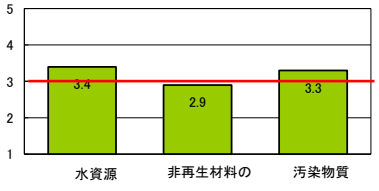


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.3

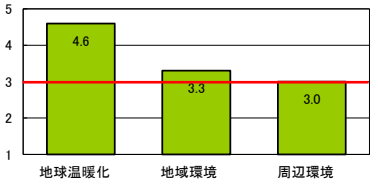
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.3



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.0



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 3.6



3 設計上の配慮事項

総合

これはCASBEE静岡（2021年版）による評価結果です。
ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。

その他

特になし。

Q1 室内環境

JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。
自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。

Q2 サービス性能

執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース＋自動販売機等の設置。
階高:3.9m以上。
[壁長さ比率] <0.1

Q3 室外環境（敷地内）

特になし。

LR1 エネルギー

BPIm=0.76。

LR2 資源・マテリアル

節水ｺﾏなどに加えて、節水型便器も採用している。
ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。

LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO2排出率が60%。
燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される